（資料１）　全体構想図

学習指導要領
県・市教育行政方針
今日的課題

学校の教育目標

豊かな心と優れた知力をもち、心身ともにたくましく生きる児童の育成

・思いやりのある子
・自ら学び考える子
・心も体もたくましい子

児童の実態
教師の願い
保護者の願い

【研修主題】

自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童の育成

－道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導の工夫を通して－

【研修のねらい】

道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導を工夫して行えば、自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童を育成することができることを、実践を通して明らかにする。

【めざす児童像】

◎道徳的諸価値についての理解を基に自分を見つめ、友達と考えを交流し合う中で、自己の生き方についての考えを深め、これからの生き方をさらによいものにしていくための判断力や心情、実践意欲・態度を身に付けようと努力する児童

【各学年の目指す児童像および重点価値項目】

低学年	中学年	高学年
・役割演技を通して望ましい道徳的価値を理解できる子 ・自己を振り返ったり、友達の考えを聞いたりすることで自分のよさに気付ける子	・多様な見方で考えをもつことができ望ましい道徳的価値を理解できる子 ・自己を振り返ったり意見交流をしたりすることで自分のよさに気付ける子	・多様な考え方を比較・検討しより望ましい道徳的価値を選択できる子 ・自己を振り返ったり、友達と意見交流をしたりすることで自分のよさや課題に気付ける子
A-(3)節度，節制 A-(1)善悪の判断，自律，自由と責任 C-(10)規則尊重	A-(3)節度，節制 B-(9)友情，信頼 C-(11)規則尊重	A-(5)希望と勇気，努力と強い意志 A-(4)個性の伸長 B-(10)友情，信頼

【手だて】

道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導として以下の２点を工夫して実践することにより、自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童を育成することができるであろう。

１　展開前段において、児童の実態と資料の特質をおさえた発問構成やねらいに向かわせるための支援の仕方を工夫することで､ねらいとする道徳的価値について理解できるようにする。

２　展開後段において、特別活動や日常生活での体験を話題として提示し、道徳的価値についての理解を基に感じたこと考えたことを友達と交流するという活動を取り入れた振り返りの工夫をすることで、自分の生き方についての考えを深められるようにする。

【教師による活動】
・学習環境整備
・「はばプラ」を活用した研修
・価値観、児童観、指導観を明確にもった授業計画
・別葉を生かした指導計画
・板書計画の充実
・書く習慣を身に付ける活動（100 マス作文・作文の日）
・話合いの指導の充実（学活・各教科）
・読書活動の推進（朝の読書）
・豊かな心を育む学級経営
・社会福祉活動の推進

【家庭・地域との連携】
・家庭への啓発と連携
・地域人材・素材の活用
・大島公民館をはじめとする市内の公共施設との連携
・長期休業中における「わたしたちの道徳」「ルールブック 50」を活用した各家庭での実践